

## ちば里山カレッジ「里山ボランティア養成コース」実施報告書（2）

特定非営利活動法人ちば里山センター

題名	ちば里山カレッジ「里山ボランティア養成コース」 第2回フィールド研修（バスツアー）「ちばの里山めぐりと里山活動体験」
日時	平成 27 年 8 月 1 日（土） 8：00～17：00
会場	研修フィールド： 千葉市 ちば森づくりの会 八千代市 むつみの森 八千代市 里山・竹の会
出席者	受講生 42 名（欠席 6 名）・主催者 2 名・スタッフ 1 名 ちば森づくりの会「都市近郊の多様な森づくり」～おぐらの森～ 講師 理事長 林 隆道、アシスタント講師 平島 知彦、鶴田 雅文 八千代市 里山むつみ隊「雑木林の管理について」 講師 代表 佐藤 孝之 アシスタント講師 山崎 典昭、白木 敬三 八千代市 里山・竹の会「竹林の管理」&「作業実習・竹林の整備作業」 講師 代表 大橋 豊秋 アシスタント講師 宮澤 英博、宮原 久夫
報告	8：00 千葉NTT前集合 8：45～10：00 ちば森づくりの会「都市近郊の多様な森づくり」～おぐらの森～ 千葉市は平成13年度から里山保全事業に取り組み、平成24年度までに4つの森をオープンした。里山協定によって地域住民の参加による森林活動、里山イベントでの都市住民との交流が期待されている。「おぐらの森」1.5haは市と協定を結んだ同会が協働管理で保全をすすめている。 スタッフの案内で針葉樹林群、広葉樹林群、針広混交林群のエリアを観察した。植栽後数年の若い広葉樹林を見学し、樹林計画、萌芽更新の手法などに質問が相次いだ。 11：30～13：25 八千代市 里山むつみ隊「雑木林の管理について」 八千代市が平成23年から始めた谷津・里山を保全・再生・活用するための担い手育成の一期生が始めた団体。八千代市は里山の保全・再生を実現するため、土地所有者と市民、行政、教育機関、事業者が連携・協働し、市は担い手育成の事業を行っている。八千代市では「むつみの森」ほか2つの里山を保全・管理している。「むつみの森」は1.7haを会員20名で月2回活動にあてている。 整備された森では、光が地表に差し込み、希少種も生育する多様な森ができ、「自然観察会」や小・中学校の里山体験などに利用されている。 針葉樹林と広葉樹林がゾーニングされた森の整備された散策路を視察し、整備された森と未整備の違いを目の当たりにした。 13：50～16：05 八千代市 里山・竹の会「竹林の管理」&「作業実習・竹林の整備作業」 八千代市が企画した里山ボランティア人材育成講座の二期生が立ち上げた。森の多くを占める竹林を中心に広葉樹の林も整備を行っている。 受講生は竹林に入り、3人一組で竹伐りを行った。ノコギリを使って一人当たり3本伐倒し、枝打ちと集積場所への運搬を行った。伐倒した竹は道具を使用し竹割を行った。二人一組で竹が見事に割れていく作業に歓声が上がった。

添付資料（写真）

